



折井区長のあいさつ



三秋集会所にて

令和6年
三秋通常総会
（文責）原田 浩明

三秋通常総会が開催されまし
た。昨年同様、大字三秋の活動
報告及び事業報告、会計報告及
び監査報告等が恙なく行われま
した。また、任期満了に伴い、
総代、各組の組長・副組長の改
選も行われ、新任の方が決まり
ました。前任の皆さん大変お疲
れ様でした、そして、新任の皆
さんよろしく願います。

令和7年3月9日、令和6年度
三秋通常総会が開催されまし
た。昨年同様、大字三秋の活動
報告及び事業報告、会計報告及
び監査報告等が恙なく行われま
した。また、任期満了に伴い、
総代、各組の組長・副組長の改
選も行われ、新任の方が決まり
ました。前任の皆さん大変お疲
れ様でした、そして、新任の皆
さんよろしく願います。

①氏名(フリガナ)・役職・年
令・趣味特技等

②新年度への抱負について

③地域新聞みあきに期待する
こと或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

①坂井克臣(サカイカツトミ)・
専務総代・60歳・釣り(最近
は近場で嗜む程度です)

②三秋地区において地震
等、防災対策は重要な事です。
先ずは、自助「自らの命は自
分で守る」そのためには「ふ
だんの備え」を心がけて頂き、
後に共助、公助。自分や地域、
公が連携して助け合える三秋
地区になればと思います。

③みあき集落活性化の為の
コミュニケーションの中核とな
るようこれからも取り組んで
頂けたらと思います。

④至らぬ点、多々有るかと思
いますが、皆様の温かいご理
解とご協力を頂き、精一杯努

今回の役員改選にて、新
たに選ばれました総代2名の方
をご紹介します。以下
の形式にて記載。

①氏名(フリガナ)・役職・年
令・趣味特技等

②新年度への抱負について

③地域新聞みあきに期待する
こと或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

第2回明神山登山
(文責) 中藤 彰悟



間伐などの整備を行った山道

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

①氏名(フリガナ)・役職・年
令・趣味特技等

②新年度への抱負について

③地域新聞みあきに期待する
こと或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

①坂井克臣(サカイカツトミ)・
専務総代・60歳・釣り(最近
は近場で嗜む程度です)

②三秋地区において地震
等、防災対策は重要な事です。
先ずは、自助「自らの命は自
分で守る」そのためには「ふ
だんの備え」を心がけて頂き、
後に共助、公助。自分や地域、
公が連携して助け合える三秋
地区になればと思います。

③みあき集落活性化の為の
コミュニケーションの中核とな
るようこれからも取り組んで
頂けたらと思います。

④至らぬ点、多々有るかと思
いますが、皆様の温かいご理
解とご協力を頂き、精一杯努

第2回明神山登山
(文責) 中藤 彰悟



間伐などの整備を行った山道

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

①氏名(フリガナ)・役職・年
令・趣味特技等

②新年度への抱負について

③地域新聞みあきに期待する
こと或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

①坂井克臣(サカイカツトミ)・
専務総代・60歳・釣り(最近
は近場で嗜む程度です)

②三秋地区において地震
等、防災対策は重要な事です。
先ずは、自助「自らの命は自
分で守る」そのためには「ふ
だんの備え」を心がけて頂き、
後に共助、公助。自分や地域、
公が連携して助け合える三秋
地区になればと思います。

③みあき集落活性化の為の
コミュニケーションの中核とな
るようこれからも取り組んで
頂けたらと思います。

④至らぬ点、多々有るかと思
いますが、皆様の温かいご理
解とご協力を頂き、精一杯努

第2回明神山登山
(文責) 中藤 彰悟



間伐などの整備を行った山道

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

令和元年11月の登山イベン
トから5年、その間も林野庁
の補助金や、地権者の方の協
力を得ながら明神山の古道復
活を目指して整備を進めてき
ました。
そして、整備の一区切りと
なりました。

①氏名(フリガナ)・役職・年
令・趣味特技等

②新年度への抱負について

③地域新聞みあきに期待する
こと或いは思うこと

④住民の皆さんへ一言

①坂井克臣(サカイカツトミ)・
専務総代・60歳・釣り(最近
は近場で嗜む程度です)

②三秋地区において地震
等、防災対策は重要な事です。
先ずは、自助「自らの命は自
分で守る」そのためには「ふ
だんの備え」を心がけて頂き、
後に共助、公助。自分や地域、
公が連携して助け合える三秋
地区になればと思います。

③みあき集落活性化の為の
コミュニケーションの中核とな
るようこれからも取り組んで
頂けたらと思います。

④至らぬ点、多々有るかと思
いますが、皆様の温かいご理
解とご協力を頂き、精一杯努

読者プレゼントコーナー

～米づくりに欠かせない農業機械に関するクイズ～

初夏になると三秋地区でも稲作が盛んに行われるようになり
ます。作業内容によって機械も変わり、多くの種類の農
業機械が必要になります。

Q,A,B,C(写真)の農業機械の名称と目的を下から選んで
組み合わせてください。

A

B

C

名称：あ.田植え機 い.トラクター
う.コンバイン

目的：イ.収穫する ロ.耕す ハ.植える

応募方法

①クイズの答え

名称 目的

A()・()

B()・()

C()・()

②住所③氏名④年令⑤本紙の感想
(どの記事が良かったか)などを明
記の上、郵便ハガキ・Eメール・公
式HPの応募フォーム(左記のQRコ
ードからアクセス)のいずれかにて
ご応募ください。正解者の中から抽選で1名の方に図書カ
ード500円分をプレゼントいたします。

宛先 〒799-3124 伊予市三秋甲271-2
地域新聞みあき事務局 宛

Eメール info.miaki@gmail.com

応募締切 2025年9月8日(月) 必着

当選発表 本紙第26号にて

※ご応募いただいた皆様の個人情報(事務局にて厳重に管理し、プレゼントの発送及び当事務局からのお知らせ以外の目的では使用いたしません。

第24号のクイズの答えと解説

答え A(しなひいらぎ)B(なんてん)C(まんりょう)

解説 しなひいらぎ
チャイニーズホーリーとして流通していて、クリスマスに利用が多い。葉に、大きな二対のとげがある。

なんてん
「難を転ずる」ことから、縁起木として庭の玄関先や、鬼門(東北の方向)に植えられることが多い。赤飯などの添え物として、葉を入れる風習があります。

まんりょう
縁起木として、正月を飾る鉢植えや生け花として利用される。葉や果実が豪華で、「万両」と呼ばれる。

くろがねもち

赤い実が枝にびっしり付くので、クリスマスリースなどにも利用される。公園の植栽や街路樹としても利用されています。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

くろがねもち

赤い実が枝にびっしり付くので、クリスマスリースなどにも利用される。公園の植栽や街路樹としても利用されています。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

編集後記

まず最初に皆さまにお詫びしなければなりません。前
号にて紙面デザインを一新すると申し上げておりました
が、諸般の都合により、実現できませんでした。もう一
度検討し直して、少しずつではありますが、見やすい紙
面になるよう取り組んで参りたいと思いますので、今一
度お時間をください。期待していた皆さんごめんない
さい。

くろがねもち

赤い実が枝にびっしり付くので、クリスマスリースなどにも利用される。公園の植栽や街路樹としても利用されています。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

みあき図書館【特別編】

(文責・原田 浩明)

～岡田有利子さんってどんな人?～

今回は、第12号より「みあ
き図書館」のコーナーを担
当、これまでに13冊のおす
め図書を紹介されてきた
岡田さんにインタビューを
敢行。当新聞に関わるよう
になったきっかけや当新聞
以外での活動などについて
伺いました。

Q、「地域新聞みあき」に関わるようになったきっかけは?

A.2019年の第2回ホタル観賞会に参加。地域新聞みあき第10号にその時の様子や感想を投稿したことをきっかけに以後、レンコイベントのお手伝いや編集委員会などへ参加するようになり、第12号より、みあき図書館の担当となりました。

Q、「地域新聞みあき」の活動に関わるようになって嬉しかったことは?

A.活動に関わっていく中で、よそ者(三秋外の住民)の私を認識してくれるようになったこと。

Q、三秋地区の印象は?

A.年配の方と若者が連携しているところがいいですね。イベントなども若者だけでなく、年配の方も一緒になってやっているという関係性がいいですね。

Q、「地域新聞みあき」に思うことは?

A.何でもデジタルというご世時に、地域の情報などを「新聞」という紙媒体で発信しているところが好きです。私の故郷八幡浜にも地域ネタを発信する新聞があったので、こういう新聞は身近に感じます。

Q、三秋の住民の方へ伝えたいことは?

A.「みあき図書館」のコーナーを含め、みあき新聞の感想を聞きたいです。

Q、最後に岡田さんが代表を務めている「いよ本プロジェクト」について教えてください。

A.「いよ本プロジェクト」とは、「本とつながる、本とおして人と人がつながる」時間をつくりたい。本をキーワードに伊予市内で以下の活動を行っています。
①交流会(紹介型読書会)②古本交換会③私設図書館ビブリアAAの運営④『いよし百冊物語』の発行。
詳しくは、いよ本プロジェクトで検索

みあき写真館

(写真・原田 浩明)

【タイトル】
初夏の恵み

キイチゴの仲間のクサイチゴです。
山の草むらの一角で群落になっていま
した。
今まさに旬で、甘くてほのかに酸味のあ
る実を集めて、ジャムにして頂きまし
た。

くろがねもち

赤い実が枝にびっしり付くので、クリスマスリースなどにも利用される。公園の植栽や街路樹としても利用されています。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

みあき写真館

(写真・原田 浩明)

【タイトル】
初夏の恵み

キイチゴの仲間のクサイチゴです。
山の草むらの一角で群落になっていま
した。
今まさに旬で、甘くてほのかに酸味のあ
る実を集めて、ジャムにして頂きまし
た。

くろがねもち

赤い実が枝にびっしり付くので、クリスマスリースなどにも利用される。公園の植栽や街路樹としても利用されています。

第24号の当選者は岡山県真庭市の三船さんです。おめで
とうございます。

追伸、今回のイベントに伊予市教育委員会の嶋崎さんも参加下さり、伊予市のYouTubeにて登山の動画が近々(?)公開されるそうですので、是非チェックしてみてください。(公開日未定)

明神山からの恵みに感謝

(文責) 原田 浩明



植付け前の代かき



種レンコンを植付け

4月中旬、今年度の『レンコン収穫体験会』用の種レンコンの植え付けが行われました。昨年の記事でお伝えした、「自生レンコンと再生レンコンとのハイブリット栽培」が大豊作と予想を上回る成果を得られましたので、今年も同じ方法で、掘り起こさずにそのまま種レンコンとする領域と、掘り起こしたレンコンを再度植え付ける領域とに分けて、作業を行いました。また、同じ場所と同じ作物を植え続

けて栽培することで起こる生育不良や病害虫の発生といったいわゆる連作障害についても、レンコン栽培開始時からこれまで1度も発生しておらず、今年も明神山からの恵みである湧き水を利用した栽培となります。7年目となる今年も豊作となりますよう祈りつつ、清らかな水を提供してくれる明神山に感謝です。

三秋に残る民具・農具

(文責) 日山 貞治

城ヶ端集落の倉庫横に、「たこつぼ」がぼつんと置いてあります。

たこつぼを使った漁法は、タコが狭い穴に入ろうとする習性を利用したもので、壺をロープでつないで海に沈めて捕獲するためのものです。昔は、陶器製でしたが、今は安価で壊れにくく、しかも軽いプラスチック製の物が普及しています。

夏の食材と言ったらタコ。タコを食べるとしたら半夏生(はんげしゅう・夏至から11日目・七夕までの間の5日間)でしょう。半夏生にタコを食べる理由の一つとして、八足のタコの吸盤が吸い付く様子から、稲の苗がしっか



倉庫横のたこつぼ



現在のたこつぼ

昭和レトロな懐かしい
コカ・コーラの空き瓶

(文責) 日山 貞治

三秋大池の現状を見に行くと、堤体の法面で昭和時代の「コカ・コーラ」の空き瓶を見付けました。

コカ・コーラの1リットルサイズは、1974年(昭和49)に家庭向けに初代が発売され、この瓶は二代目にあたります。初代の瓶より、割れるのを防ぐため透明のプラスチックバーが付き、赤ラベルになっています。ラベルは、英文面と日本語面がありま



コカ・コーラの空き瓶(三秋大池にて)

空き瓶の重量は765gで、今のペットボトルと比べても非常に重いものとなっています。二代目は、1976年から使用され、この瓶にもエンボス加工で76の文字が胴の部分に刻印されています。1977年の三代目からは、ボトルの胴の部分寸胴からくびれのあるホブスカートになって、コカ・コーラらしい形状になりました。小・中学生の頃、この空き瓶を貯金箱として利用していたことを思い出しました。

国鉄時代の原中架道橋

(文責) 日山 貞治

JRの愛ある伊予灘線と、市道三秋線が立体交差する所に、原中の架道橋があります。三秋地区にある架道橋は3箇所あり、中央に位置しています。

架道橋は、コンクリート製の桁橋で、1973年(昭和48)3月に完成しています。国鉄からJRとして民営化されたのが、1987年(昭和62)年なので、国鉄時代に造られたものです。

支間は約5mで、桁橋の長さ約6m・厚さは約1mほどです。橋桁の下部には、12枚



架道橋を通過する伊予灘ものがたり



架道橋の裏側

西願寺の鐘楼(釣鐘)

(文責) 日山 貞治

鐘楼の大釣鐘は、太平洋戦争中、国策に沿って献納されましたが、昭和四十六年(一九七二)檀家の寄進によって造られました。

正面には、「日の丸扇」の仙波家紋と大原山西願寺。裏側には、南無釈迦牟尼佛(昭和四十六年十月吉日/当山九世智道信雄代・釣鐘の周りは、担徒総代・施主の名前がずらりと刻まれています。鑄匠は、京都市の岩澤徹誠です。



西願寺の鐘楼

こんにちは赤ちゃん。

(文責) 原田 夏子



六花ちゃんとお母さん

令和6年12月、長谷保・奈緒さん夫婦に長女、六花(りっか)ちゃんが誕生しました。お名前前の由来を伺ったところ、「六花」とは雪の別名で、雪の結晶が六角形で花のように美しいことからそう呼ばれるようになりました。また、雪の結晶は1つとして同じ形のものがないと言われていることから、唯一無二の存在であってほしいという願いを込めてつけましたとのこと。冬ならではの美しい名前ですね。最後に、六花ちゃんへの思いを伺いました。この自然豊かな三秋で、元氣いっぱい、笑顔いっぱい、すくすく育ってほしいですとのこと。三秋に新たな子どもが増えて、賑やかになりそうですね。ご誕生おめでとうございます。



卒業おめでとう

(文責) 原田 浩明

令和6年度は3名の方が卒業されました。

中学校を卒業されたのが、川本浩輝くん(高井一希くん)と高井一希くん。小学校を卒業されたのが、高井歩夢くん。卒業にあたり、一言コメントを頂きましたので紹介します。

「友達との友好関係を築きたい、部活に力を入れたい。」(川本浩輝くん)

「高校生活頑張ります。」(高井一希くん)

「中学校で勉強とテニス部両方頑張ります。」(高井歩夢くん)

3名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。



川本浩輝くん

高井一希くん



高井歩夢くん

交通ルールとマナーを守って走ろう!

(文責) 原田 浩明



信号がある交差点にて

5月9日、小学3年生を対象とした自転車教室が、北山小学校体育館にて行われました。伊予署の警察官および交通安全協会の皆さんの指導の下、実際の道路に見立てた模擬コースで、一時停止の場所や交差点でのふるまい等、自転車で行く上での様々な注意点を一つひとつ確認しながら、走行を行いました。この日習ったことを忘れずに、実際の道路でも安全に自転車に乗りますように。また、私たち大人も今一度自転車のルールを確認して、子どもたちのお手

本になるよう心がけましょう。



信号がない交差点にて

田んぼの水はどこから

(文責) 原田 浩明



水路の樋

快晴の青空の下、5月14日、北山崎小5年生39名の校外学習が行われました。テーマは、「田んぼの水はどこから?」。朝8時半、学校を出発して、田んぼの水が流れる水路をたどりながら、水源である「三秋の大池」へと向かいました。途中、水路の分岐点などにある堰を見学しながら、先人たちの功績に気づき、米づくりに欠かせない水の大切さを感じ取っているようでした。三秋の大池では、土手(堤防)



昔の洪水吐の跡



底樋の前で先生の説明を聞く子どもたち



大池の水が抜かれたところを散策



大池の土手の上で記念撮影



大平に向かって峠を登る子どもたち

